

この建物は、中間検査の対象建物です

中間検査 (第二十六号様式)

特定工程(中間検査時期)

- | | | |
|---|-----------|-----------------------|
| <input type="checkbox"/> 木造 | | 屋根工事完了後 |
| <input type="checkbox"/> 3階を木造とした混構造 | RC造 | 2階梁・床の配筋工事完了後 |
| | S造 | 鉄骨建て方工事完了後 |
| <input checked="" type="checkbox"/> RC造 | | 2階梁・床の配筋工事完了後 |
| <input type="checkbox"/> S・SRC造 | | 鉄骨建て方工事完了後(一階もしくは第一節) |

検査の予約

- ・電話で予約して下さい。
- ・検査日の**4日前(土・日・祝日含む)**から「中間検査申請書」を受け付けています。

確認する事項(検査時に提出して下さい)

木造	コンクリート配合報告書・圧縮試験の結果(1週強度、4週強度は完了時まで提出。) 鉄筋ミルシート、写真(根切りから基礎配筋及び隠ぺい部分等) 中間検査チェックシート(中野区版、確認申請書副本に添付しています。)
3階を木造とした混構造	コンクリート配合報告書・圧縮試験の結果、鉄筋引張試験成績書、杭ずれ寸法(杭がある場合) 溶接部第3者検査成績書等、写真(根切りから基礎配筋及び隠ぺい部分等) 中間検査チェックシート(中野区版、確認申請書副本に添付しています。)
S・RC・SRC造	コンクリート配合報告書・圧縮試験の結果、鉄筋引張試験成績書、杭ずれ寸法(杭がある場合) 溶接部第3者検査成績書等、写真(根切りから基礎配筋及び隠ぺい部分等) 中間検査チェックシート(中野区版、確認申請書副本に添付しています。)

申請手数料

30㎡以内	9,900円	500超～1,000㎡以内	34,000円
30超～100㎡以内	11,000円	1,000超～2,000㎡以内	46,000円
100超～200㎡以内	15,000円	2,000超～10,000㎡以内	104,000円
200超～500㎡以内	21,000円		

手数料の算定基準は、木造(主要構造部の一部を含む)の場合は、延べ床面積です。
RC・S・SRC造は、1・2階(地階も含む)の床面積の合計です。

完了検査 (第十九号様式)

検査の予約

- ・電話で予約して下さい。
- (確認申請で設備の審査があった場合は、設備担当へ予約して下さい)
- ・検査日の**7日前(土・日・祝日含む)**から「完了検査申請書」を受け付けています。

申請手数料(特定工程の中間検査を受けた場合)

30㎡以内	11,000 (9,900)円	500超～1,000㎡以内	37,000 (36,000)円
30超～100㎡以内	12,000(11,000)円	1,000超～2,000㎡以内	52,000 (49,000)円
100超～200㎡以内	16,000(15,000)円	2,000超～10,000㎡以内	124,000(115,000)円
200超～500㎡以内	23,000(21,000)円		

手数料の算定基準は延べ床面積です。

中野区建築分野建築確認・検査担当
TEL 3228 - 5596

中間検査チェックシート

交付番号 _____

建築主名 _____

監理者名 _____

印 _____

意匠

1 敷地

- 面積 変更があった 確認申請と同じ 〇に^レでチェック
- 形状 変更があった 確認申請と同じ
- 平均地盤面 変更があった 確認申請と同じ

2 配置

壁面から敷地境界線までの距離 (東 m、南 m、西 m、北 m)

3 高さ

平均地盤面からの建築物の高さ (最高の高さ m、軒の高さ m)

4 建築物の形態

- 立面 変更があった 確認申請と同じ
- 断面 変更があった 確認申請と同じ

設備

- 避雷設備の接地極の位置、材料、抵抗値 確認していない 確認した
- 排水管が公共下水道等に適正に連結されているか 確認していない 確認した
- 浄化槽の位置、機種 確認していない 確認した

変更届・計画変更確認申請 申請していない 申請した

変更の内容 _____

監理者が検査をして、不合格にしたこと。そして、どのように訂正させたのか

中間検査チェックシート (RC造)

番号	検査項目	内 容	検査日付	施工者	監理者	検査方法		検査機関用		修正 月 日		
						A: 目視検査 B: 計測検査 C: 監理者報告	結果	1次	2次			
											良否	良否
① 全体	共通	01 鉄筋の乱れ、廻み荒らし、汲打ち、たるみの有無の確認 02 柱、はり、壁、スラブの位置の確認 03 かぶり厚さの確保 04 PC部材、PCa部材及び38条大臣認定を取得している部材及び工法の、使用方法及び施工方法を 05 鉄筋の材料、種類、品質、形状及び寸法 (共通)の確認				A・C						
						A・C						
						A・B・C						
						A・C						
						A・C						
② 地盤	支持地盤	06 支持地盤の位置、種類、地耐力等の確認				C						
③ 基礎	ベース	08 寸法、主筋の径、本数、位置等の確認 09 断面寸法、主筋の径・本数・位置・定着方法・継手 (位置、長さ)、あばら筋の位置・径・間隔・形状等の確認				C						
④ 柱	一般階 主筋 最下階 主筋 定着・継手 ふかし、 板り 帯筋	10 寸法、主筋の径・本数・配置 (方向) の確認 11 2段筋の位置 (間隔) の確認 12 余長長さと向きの確認 13 各階止まり主筋の定着確認 14 主筋の継手位置の確認 15 ふかし部の補強方法の確認 16 板りの位置及び補強の確認 17 径、間隔、本数 (中子筋共) 及び形状の確認 (仕口部含む) 18 主筋板り部、折曲げ部の帯筋補強の確認 19 第1帯筋と柱頭拘束帯筋の位置確認 20 帯筋のフック形状、主筋との繋結の確認 21 寸法、径、本数及び位置の確認 22 中吊り筋の間隔の確認、長さ確認 23 主筋の定着位置・長さ及びカットオフの位置・長さの確認 24 重ね継手の位置と長さ確認 25 はり筋出隅部の末端フック確認 ふかし、 開口補強 あばら筋				A・B・C						
						A・B・C						
						A・B・C						
						A・B・C						
						A・B・C						
						A・B・C						
						A・B・C						
						A・B・C						
						A・B・C						
						A・B・C						
						A・B・C						
						A・B・C						
			⑤ はり	補強筋 片持ばり	26 ふかしの補強方法の確認 27 開口位置、補強方法の確認 (評価品の仕様確認) 28 主筋の径、本数 (中子筋共) と間隔の確認 29 第1あばら筋位置、小はり交差部のあばら筋確認 30 あばら筋のフック形状、主筋との繋結の確認 31 ハンチ付きばりの吊り上筋部分のあばら筋補強 32 横筋 (ねじれ補強) の径、本数及び幅止め筋間隔確認 33 主筋の定着、あばら筋位置、上端筋の納まりの確認				A・B・C			
						A・B・C						
						A・C						
						A・C						
						A・B・C						

番号	検査項目	内容	検査日付		検査機関用			修正 月日	
			施工者	監理者	検査方法		結果		
					A: 目視検査 B: 計測検査 C: 監理者報告	1次	2次		良否
⑥床版	スラフ筋 定着、重ね継手 補強筋等	34 スラフ厚寸法、鉄筋のピッチと径の確認			A・B・C				
		35 主筋方向（短辺・長辺とベント配筋）と支持条件の確認			A・C				
		36 定着の長さや方法（はり定着、隣接スラフ、段差スラフ定着）			A・B・C				
		37 片持スラフの定着と上端筋位置確保（先端壁有無）			A・B・C				
		38 継手位置と長さ			A・B・C				
		39 床スラフの出入隅部の補強			A・B・C				
		40 開口部補強配筋確認			A・B・C				
		41 階段部配筋と補強筋確認			A・B・C				
		42 スラフの受け筋設置状況			A・C				
		43 壁厚寸法、鉄筋の間隔・径・位置（土圧壁主筋・階段受け筋）の確認			A・B・C				
⑦壁	壁筋 定着・重ね継手 補強筋等 設備配管等	44 定着（はり、柱、スラフ、壁定着）、長さ、方法の確認			A・B・C				
		45 重ね継手の位置と長さの確認			A・B・C				
		46 開口補強配筋確認			A・B・C				
		47 スリットの位置・形状及び配筋確認			A・C				
		48 設備配管（CD管等）の配置確認			A・C				
		49 圧搾空気資格者の確認			C				
		50 継手位置のすらし			A・B・C				
		51 形状			A・B・C				
		52 強度確認等			C				
		53 引張り試験体の抜取り数と位置の確認			A・C				
⑧その他	特殊鉄筋 継手 型枠並びに既存打設部分状況確認 危険防止	54 認定、評定工法の確認			A・B・C				
		55 継手位置の確認			A・B・C				
		56 型枠及び支柱の締付け、清掃状況確認			A・C				
		57 打込み欠陥部の有無、及び補修の確認			A・C				
		58 基礎、柱、はり、床版、壁の体寸法の確認			B・C				
		59 型枠支柱存置期間の確認			A・C				
		60 コンクリート打設後の養生			A・C				
		61 コンクリートの調合及び圧縮強度の確認			C				
		62 仮囲いの設置			A・C				
		63 根切り及び山留めの安全性について			A・C				
⑨	不具合の 処置及び 検査結果 の考察	64 基礎工事用機械の転倒防止について			A・C				
		65 落下物に対する防護について			A・C				
⑩	添付図書								

施行細則 14 条の報告による